



Weekly Report



ロータリーは出会いのひろば

佐世保北ロータリークラブ 2011～2012年度 RI 会長 / カルヤン・パネルジー ガバナー/ 岩永信昭

会長/中島閏二 幹事/深町 等 例会場/佐世保市島瀬町7番7号 西沢本店8Fカトレアホール（毎週月曜日）
 創立/1984. 4. 16 認証/1984. 5. 14 事務局/佐世保市島瀬町7番7号 西沢本店内 TEL 0956-22-7144 FAX 0956-22-1201
 E-mail office@sasebonorth.org Web http://www.sasebonorth.org

【本日】会員数44名 出席 30名 欠 席 5名 出席規定免除会員（9）出席 9名 ビジター 0名 出席率 88.64%
 【前々回】会員数44名 出席 29名 メークアップ 6名 出席規定免除会員（9）出席 7名 修正出席率 100.00%

《ゲスト卓話》

“街づくり”としての
 栄・常盤地区第一種市街地再開発事業
 栄・常盤地区市街地再開発組合
 事務局長 中野勝義 氏



三ヶ町商店街の現状と再開発事業

ここ、十数年間は郊外に大型店が進出したり、人口減少、高齢化等により中心市街地の衰退や空洞化が顕著になっていま

す。このような状況を踏まえて三ヶ町商店街は「佐世保の中心市街地の顔」として現状のままで何もしない訳にはいかない状況があります。積極的に中心市街地の再生に取り組むことが急務な課題と認識し、老朽化が激しい建物が多く在る地区を将来の少子高齢化を見据えて、安心、安全な施設改善や商業活性化を図るために一体的に街づくりを推進する必要性から平成11年から再開発事業の検討を始めました。

再開発事業の目標

街の再生と活性化を図ること。中心商店街における快適な居住空間を創出するとともに、商業機能の充実と防災性の向上を図り、民間活力による賑わいを創出すること。これまで高度経済成長期は、生活が車中心であり、車を前提として土地利用がなされ商業施設をはじめ、学校・病院・高齢者施設などが郊外化して、この姿こそ地方都市の発展の姿として歓迎されました。それに伴ないインフラ整備も進められた。しかし、バブル経済の終えんにより、都市のあり方の軌道修正を余儀なくされ、コンパクトな街づくりが取り込まれるようになった。この

ような変遷を踏まえて、中心市街地において商業・業務機能や公共施設の適切な配置をし、さらに居住空間の集積を誘導し、賑わいを図りローコストでエコロジーなコミュニティを目指すこと。また、安心、安全の居住、生活環境の形成を目指すこと。言い換えれば「コンパクトシティづくり」が再開発事業の目標として事業を推進してきました。

再開発事業における行政支援の効果

行政支援のメニューは様々な業種に亘り数えきれない程存在します。その中で再開発事業のメニューを有効に活用して街づくりを推進しています。しかし、そこには行政（佐世保市）の街づくりへの熱意が我々を支えて事業が推進されていることや事業が困難な局面に直面した際においても佐世保の街づくりへの並々ならぬご決断をいただき、今日に至っていることを忘れてはなりません。

商店街の復興と再生のはじまりを予感させる再開発事業

郊外の巨大ショッピングモールという一つの街と遜色のない街づくりとは、そこへ行きさえすれば消費目的は達成され、その上、イベント盛りだくさんで消費者を全く退屈させないこと。そのような街づくりのスタートが栄・常盤地区市街地再開発事業と考えています。中心商店街におけるイベントは、よさこい祭り、きらきらフェスタなど他の地域にない立派なイベントがあります。それに加えて、新たな商業施設、公益施設、高齢者施設、住宅施設、医療モール施設等を兼ね備えたコンパクトな街づくりが、佐世保の中心商店街の復興と再生の幕開けと確信致しています。

最後に、このような機会をつくっていただいた佐世保北ロータリークラブの中島会長、松尾プログラム委員長はじめ多くの会員の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

《会長挨拶》

中島 閏二 会長

今日は11月、最初の例会です。また、今月はロータリー財団月間でもあります。ロータリー財団については、先週、小西国際奉仕委員長の卓話の通りで2年後財団のシステムが大きく変わるようです。

さて、今日はロータリーのロータリー親睦活動(Rotary Fellowships)についてお話をいたします。

この、ロータリー親睦活動(Rotary Fellowships)というのは以前、ロータリー趣味・職業別親睦活動(Rotary Recreational and Vocational Fellowship =RRVF)と言われていましたが、2002年1月よりロータリー親睦活動(Rotary Fellowships)と改称されました。

このロータリー親睦活動には現在、サイクリングからワイン鑑賞まで、幅広いロータリー親睦活動グループが、80以上あります。

その中でもよく知られているのが「ロータリアンの国際ゴルフ親睦グループ」や「ロータリアンの国際囲碁親睦グループ」ではないでしょうか。

その他にも、アマチュア無線、釣り、乗馬、登山などあるようです。

また、面白い活動には、「コロンブス到来以前の文明に関する国際親睦グループ」とか「自動車ナンバープレート収集家親睦グループ」いったロータリー親睦活動があるようです。

北クラブでは、この親睦活動の中の「国際ヨット親睦グループ」に数名の方がメンバーになっています。

皆様もご自分の趣味にあった親睦グループに参加されてはいかがでしょうか？

詳しくは、2010年手続き要覧「第9章 国際奉仕」123ページをご覧ください。

さて、本日の例会は「街づくりについて」と題して、中野勝義様の卓話です。

.....

《幹事報告》

深町 等 幹事

1. 例会変更

・佐世保中央RC

11月10日(木) 18:30～

シネマボックス太陽(社員招待例会のため)

12月14日(水) 12:30→18:00～

ロイヤルチェスター伊万里(忘年会のため)

市瀬農園(芋掘りみかん狩り家族会)

2. 来 信

・財)米山記念奨学会

特別寄付金明細書・感謝状一覧表・米山功労者感謝状及び表彰品

(第1回功労者 平石、蒲池会員)(マルチプル 深町、峯、緒方会員)(メジャードナー 西沢、福田、豊島会員)

・ロータリーの友事務所

ロータリーの友11月号

・ガバナー事務所

①ガバナー月信 11月号

②国際ロータリーより認証ポイントに関する変更

③牛津RC事務局員 江口さんご逝去のお知らせ

(今後の連絡等はクラブ幹事 江口 武 様宛

FAX:0952-66-5859) までお願い致します。

新しい事務局員さんが決まりしだいお知らせいたします。

・佐世保RC

3000回記念例会のお礼状

・佐世保西RC

「クラブ現況及び活動報告書・全年度活動実績報告書」

・海上自衛隊佐世保地方総監部

西海 第83号

3. 伝達事項

①11/8(火) ハウステンボス佐世保RCにて全 恵受さんの出前卓話となっております。全 恵受さん、緒方カウンセラーよりしくお願いします。

②11/9(水) 18:30～より日吉屋にて第5回市内RC会長幹事会となっておりますのでよりしくお願いします。

③11/14(月) 次回例会は、渡会祐二会員の「珍しい判例について」

《今月の結婚祝い》

S. 50. 11. 2 中山 誠・文子 夫妻

S. 53. 11. 27 福田俊郎・三和 夫妻

S. 57. 11. 6 湯口純二・昭子 夫妻

S. 43. 11. 17 豊島揆一・幸子 夫妻

S. 45. 11. 22 富田耕司・路子 夫妻

S. 56. 11. 23 蒲池芳明・眞三枝 夫妻

H. 20. 11. 22 村瀬高広・美希 夫妻

《今月の誕生祝い》

S. 18. 11. 11 永田武義君 S. 27. 11. 1 相良一三君

S. 28. 11. 23 宮崎有恒君

《委員会報告》

緒方信行 会員

10月26日～28日まで仁川松島RCに訪問して来ました。
参加者：豊島会員・緒方会員・村瀬会員・福田会員ご子息・ジョン・ヘス

.....

《RI ニュース》

ロータリーがマーシーシップスと提携

ロータリー財団は、ロータリアンによる西アフリカでの保健活動を支援するため、世界的慈善団体であるマーシーシップス と、新たに提携を結びました。
この提携を通じて、財団は、クラブと地区が医療専門家から成る職業研修チーム(VTT)を派遣するためのパッケージ・グラント(グローバル補助金的一种)を提供し

ます。この職業研修チームは、手術などの治療活動だけでなく、現地の保健従事者のスキル向上の支援も行います。プロジェクトはまず、マーシーシップスが所有する16,500トンの船、「アフリカ・マーシー」が活動を展開している西アフリカ（現在の寄港地はシエラレオネのフリータウン）から始まります。

ロータリー財団のウィリアム・ボイド管理委員長は、「この提携によって、医療支援が行き届いていない地域の人々を支援する世界的なリーダーとの協力を通じて、クラブ会員は自らの専門知識を活用することができる」と話します。

1978年に創設されたマーシーシップスは、発展途上国で医療を無料で提供するだけでなく、それらの国々における持続可能な開発を支援する団体です。これまで70カ国以上で活動を展開し、290万人もの人々を支援してきました。

毎年1,200名の手術医、歯科医、看護師、保健研修者、教師、料理人、船員、エンジニア、農業専門家などがボランティアとして参加し、スキルを生かしています。

.....

《ハイライトよねやま》

台風被災地でボランティア活動 — 第2640 地区 —
台風12号によって、大きな被害の出た第2640地区（大阪府南部・和歌山県）。「現地で少しでも役立ちたい」と同地区学友会から声が挙がり、9月24・25日の2日間、奨学生10 人と地区米山委員会メンバーら9人が被災地に赴き、浸水した家屋のふき掃除や家財の運び出しなどのボランティア活動を行いました。

参加した奨学生の一人、中国出身の曲航萍さん（富田林RC）は、「被災地の様子を実際に見て、非常に心が痛みました。これからの生活はとても大変だと思うので、少しでも力を貸したい。希望を伝えたい」と語りました。また、ともにミャンマー出身のピューピューテッコさん（貝塚RC）とピョピョウエーさん（関西国際空港RC）は、「ロータリアンの皆さんに教えていただいたのは、人と人とが助け合う精神。片付けたお家の方から、笑顔で『ありがとう』と言われたときは、思わず涙がこぼれるほど感動しました」と、揃って感想を寄せてくれました。

同地区米山奨学委員長の谷野一彦氏は、「今回、学友会の学生たちから申し出てくれたことがとても嬉しく、彼らの気持ちを形にしたいと思いました。参加した奨学生は皆、一生懸命がっかり、達成感を感じたようです。今後の活動にもプラスになるでしょう」と、語っています。今回の活動は、9月27日付の地元紙・熊野新聞の一面に掲載され、紹介されました。

10年の絆を育んで—ジャンチブ・ガルバドラッハさん—

10月7日、山形市内のホテルで「モンゴル国際フォーラム」（主催：山形北RC）が開かれ、かつて山形北RCの米山奨学生だったジャンチブ・ガルバドラッハさんと、彼が母国に設立した「新モンゴル高校」の卒業生8人が、それぞれの夢や日本の留学生生活を語りました。

ジャンチブさんが米山奨学生だったのは1998～99

年。「モンゴルに国際標準の3年制高校を作りたい」という彼の夢を、山形北RCを中心に多くの一般の人が「柱一本の会」の会員となって支援し、2000年に新モンゴル高校が設立されました。10年経った今、屈指の私立高校へと成長しています。「ジャンチブは今でも皆の気持ちを胸に頑張っている。10年の節目を迎えて、われわれとの絆がまだしっかりとあることを確認し、柱一本の会に協力してくれた人たちや、当時を知らないロータリアンに、その後のことを知ってもらいたい」と、この企画を発案した酒巻満会員は言います。会場には柱一本の会の元支援者や地元の高校生など約120人が集まり、熱心に耳を傾けました。

.....

《ニコニコBOX》 田平 孝 親睦活動委員

中島閏二 会長 永田武義 副会長 深町 等 幹事
“栄町・常盤地区市街地再開発組合” 事務局長、中野勝義様には大変お忙しい中卓話をして頂き、ありがとうございます。明日の明るい佐世保をめざして共にがんばっていきましょう。

松尾辰二郎君
中野勝義さんには卓話をお願いしましたところ快く引き受けて頂きありがとうございました。新しい街づくり期待しております。頑張ってください。

田島勝明君 宮崎有恒君
本日の卓話者は私ども“栄町・常盤地区再開発組合”の中野事務局長です。お腹は出ますが、腹黒くはありませんのでよろしくお願いします。

中山 誠君
結婚お祝いありがとうございました。

湯口純二君
結婚記念日にきれいなお花頂き、ありがとうございます。来年は30周年になりますので、富士山クラスの山に挑戦しようかと、考えています。

渡会祐二君
“栄町・常盤地区再開発組合”の事務局長 中野勝義様、本日は卓話の為に当クラブにお越しいただきありがとうございます。いつもは組合事業の打ち合わせでお話をさせていただいておりますが、本日は一会員として楽しみに卓話を聞かせて頂きます。

**小西宗十君 峯 徳秀君 緒方信行君 田平 孝君
須田 昇君 森 豊君 豊島揆一君 西川正美君
宮原明夫君 藤井良介君 蒲池芳明君 大鳥居 宏君**
中野勝義様、本日はようこそいらっしました。卓話楽しみに拝聴いたします。

本日の合計 26,000円	累計 590,000円
---------------	-------------